欄に記入してください

## 温室効果ガス削減実施状況報告書

## 1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社エフピコ 神辺工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市神辺町旭丘2-2番地

(3)業種

硬質プラスチック発泡製品製造業(1842)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成 2 8 年度を基準年度とし、平成 2 9 年度から令和 2 年度までの  $\underline{4}$  年間とする。

## 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位:排出量(t-CO<sub>2</sub>),削減率(%)

温室効果ガスの種類	基準年度実 排出量(a)	目標年度 上段:見込量 (b) 下段:削減率 (c)	計画期間の実績 (上段:実排出量(d),下段:削減量の対基準年度比(e))				
V ノイ里 矢貝	平成 年度	令和 年度 ( )	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度
エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO2		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガスみなし排出量		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績に対する自己評価		// \\					

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a)×100 削減量の対基準年度比(e)=((a)-(d))/(a)×100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標: 生産数量(トン)

	ı						
温室効果ガスの種類	基準年度の 実績(a)	目標年度 上段:目標(b) 下段:削減率(c)	計画期間の実績 (上段:原単位実績(d),下段:削減量の対基準年度比(e))				
♥ ノイ里 大只	平成28年度 (2016)	令和2年度 (2020)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和 年度
エネルギー	0. 88	0.84	0. 98	0.88	0.65	0.69	
起源C02	0.88	-4.6	-11.4	0.0	26. 1	21.6	100.0
非エネルギー							
起源C02		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン	メタン						
7. 7. 2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素	ル <sup>一</sup> 空表						
政10一生术		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他							
温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス	0.88	0.84	0. 98	0.88	0.65	0.69	
排出量総計	0.00	-4.6	-11.4	0.0	26. 1	21.6	100.0
エイルキー消費原 単位 (原油換算		0.30	0.36	0.35	0.33	0.34	
単位(原面换异 kl)		-6.3	-12.5	-9.4	-3. 1	-6. 3	100.0
実績に対する自己評価		は生産量が増加したがは削減目標には至って		器の生産割	合が多い為、	エネルギー	

<sup>※</sup> 削減率(c) = ((b) -(a))/(a)×100 削減量の対基準年度比(e)=((a)-(d))/(a)×100

## 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	○ 価重効木グハッが田外間が万大水池					
	項目	削減量等	具体的な取組			
1	2					
2						
3						
4						

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組(環境価値の活用等)

_	$\cup$	一位主効朱ガスみなし併山重の抑制に関する取組(現児伽旭の店用寺)	
		種 類 合計量	
	1		
	2		
	3		

○ その他の取組

	プログラ (V) (E) V					
	項目	削減量等	具体的な取組			
1						
2						
3						

<sup>※</sup> 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。